





デューク・エリントン  
エリントン・ミュージック VOL.2

A Duke Named Ellington

1.優れた楽曲とアレンジ

“A列車で行こう” “ムード・インディゴ” “エイト・ヴェイル”

2.ニューポートでの大成功～

ポール・ゴンザルヴェス、ピリー・ストレイホーン  
“チェルシー・ブリッジ” “ロータス・ブロッサム”

3.エリントンの作曲の秘訣

“ドント・ゲット・アラウンド・マッチ・エニモア”  
“極東組曲” “トゥッティ・フォー・クーティ”  
組曲 “河” “ナイト・クリーチャー”

4.エリントン、人と音楽

“ブラック・ブラウン・アンド・ページュ” “カム・サンデイ”  
“極東組曲” “セコンド・セイクリッド・コンサート”  
“ハッピー・リユニオン”

5.エンディング

“A列車で行こう”

日本語字幕：落合寿和 (HEATHER)

アメリカのポピュラー音楽史上を代表する名作曲家にして名バンド・リーダーがデューク・エリントン (1899-1974年) である。その彼の足跡を、興味深い映像の数々とさまざまな関係者の証言で辿った作品の『第2集』が本作だ。

この映像ソースは1988年にアメリカのテレビ局で放映されたものだが、もちろん本邦未公開の、しかも驚くほどに素晴らしい内容が網羅された作品である。この手の作品ゆえ、演奏シーンが途中でカットされてしまう曲も含まれているが、それでもさまざまな時代の非常に珍しい演奏シーンを自在に駆使し、さらには貴重なエピソードをその当事者 (もちろんエリントン自身も含まれる) が証言するなど、まさにエリントンという不世出の音楽家の姿をさまざまな角度で紹介しているのがこの作品だ。

加えてストーリー展開のテンポの良さにも素晴らしいものが認められる。『第1集』と『第2集』を合わせてほぼ2時間におよぶドキュメンタリーがあっという間に最後のシーンになってしまう構成は、編集手腕の見事さを伝えるものだ。もちろんエリントンの業績が素晴らしいものだったこともあるが、それを退屈させない構成でひとつの作品に纏め上げているところも評価すべきだろう。

エリントンは生涯に2000曲とも3000曲とも言われる作品を残した名作曲家として、アメリカのポピュラー音楽史上を代表する人物である。彼のオーケストラが演奏する「キャラヴァン」や「A列車で行こう」といった名曲は、ジャズを知らないファンでも一度ならずとも耳にしたことがあるだろう。群を抜いた実力、音楽性、人気によって、ジャズを始めポピュラー音楽の世界で絶大な評判を誇ってきたのがエリントンであり彼のオーケストラだ。

『第2集』はその「A列車で行こう」をエリントンが奔放なタッチで聴かせてく

れるシーンから始まる。これは『第1集』が、ピアニストとしての彼のユニークで独創的なスタイルと音楽性を紹介する下りで終わったことを受けたものだ。それにしては鍵盤上を目まぐるしく動き回るエリントンのタッチが素晴らしい。そしてそのままエリントン・オーケストラが演奏する「ムード・インディゴ」のシーンに移るが、これを持ち曲にしていたラッセル・プロコープの話がこれまた興味深い。

プロコープによれば、28年間にわたって毎晩この曲を演奏していたが、常に新鮮な気持ちで臨めたという。それはエリントンがいつもアレンジを少しづついじっていたからだ。エリントンのオーケストラはメンバーも減多に変わらなかったし、それゆえ主要なレパートリーもほとんど変わらなかった。それでもいつもフレッシュな響きを獲得していたのは、アレンジを少しづつ変えることで、プレイヤーも常に新鮮な気持ちで演奏に向かえたからだ。

こうした要素がエリントン・オーケストラの人気を不動のものにしていったのである。しかし1940年代に入ると、ジャズの世界にはビバップ革命が起こってくる。スイング・ジャズが隆盛を誇った1930年代は、エリントンのオーケストラを始め数多くのオーケストラが人気を博していた。それはスイング・ジャズがダンス用の音楽としても重用されていたからだ。

しかしビバップ以降のいわゆるモダン・ジャズは、ダンスに不向きな鑑賞用音楽としてその人気を獲得したのである。したがってダンス・ホールを重要な仕事場にしていた大半のオーケストラが経営難に陥ってしまう。エリントン・オーケストラと好ライヴァルだったカウント・ベイシー・オーケストラですら一時コンボ編成にバンドを縮小したほどである。しかしこの時代もエリントンは見事に乗り切ったのだ。

たしかに仕事の量は減ってしまったが、それでもオーケストラが維持できたのは、やはりリーダーの優れた音楽性とキラ星のようなスター級のメンバーがズバリと顔を揃えたご機嫌なサウンドがあったからだ。すでにエリントン・オーケストラは流行や時代に関係のない存在になっていたのである。しかしそれでもかつてほどの収入は望めなくなってしまう。その窮地を救ったのが1956年に出演したニューポート・ジャズ・フェスティバルだ。

ロード・アイランド州にある高級避暑地のニューポートでジャズ・フェスティバルが開催されるようになったのは1954年のことだ。2回目の1955年には、それまで不遇を悶っていたマイルス・デイヴィスが大成功を取め、それがきっかけとなって彼はスーパースターの道を歩むようになっていく。そして次の年の1956年に一番の人気を獲得したのがエリントン・オーケストラだった。

このときのエピソードが『第2集』のハイライトのひとつと書いていいだろう。このときのライヴはつい最近コンプリート・ヴァージョンがソニーからCD化されたばかりだ。このビデオで語られているエピソードについても、舞台裏までを含めてそのライナーノーツで詳しく紹介されている。しかし当事者が直接その言葉で語りかけてくるこのビデオも説得力十分だ。

簡単に紹介するなら、このステージでポール・ゴンザルヴェスをフィーチャーした「デミニユエンド・アンド・クレッシェンド・イン・ブルー」が大きな反響を巻き起こしたのである。実にこの曲で彼は27コーラスにおよぶロング・ソロを展開したのである。これもそれまでに例を見ない出来事だったが、彼のソロが7コーラス目に差しかかったときのことである。突如黒いドレスをまとったブラチナ・ブロードの女性がボックス席のひとつで踊り始めたのだ。それに連られて別の席

でも誰かが踊り始め、そして客席はいつの間にかダンス・ホールのようになってしまったのである。

長いニューポート・ジャズ・フェスティバルの歴史の中でも、このハプニングは長く語り継がれている伝説のひとつだ。そしてこのときの評判によってエリントン・オーケストラは完全に復活することとなったのである。

続いては『第1集』でも触れたが、エリントンはすべての曲やサウンドを特定のプレイヤーを想定して書いていた、という話が自身の言葉で紹介される。

“長年同じ顔ぶれでバンドが続けられたお陰で、個人を尊重した作曲ができました。すべての音を奏者を想定して書けば、ソロの魅力が最大限に出せるんです”。

メンバーのひとりクラーク・テリーはこのことについてこう語る。

“バンドは彼の楽器だった。バンドに思い通りの音を出させるんだ。作曲する時点で奏者も決まっている。例えばの話、レックス・スチュアートがハーフ・バルブで吹く。Eナチュラルだ。彼の吹き方だと、楽譜の音で半音とスラーの半音が出せる。デュークの楽譜を見れば判る。あの音を出したいときには誰のパートにせよレックスに吹かせるように指定してある。そうして望みの音を確実にものにした”

エリントンの片腕で、代表曲のひとつ「A列車で行こう」を作曲したビリー・ストレイホーンとの共同作業や、曲作りの裏話も、エリントン・ミュージックの秘密を垣間見たような気分させられるものだ。本作の後半はさまざまなひとの証言で、彼の作曲とアレンジについて語られていく。そこから浮かび上がってくるのは、エリントンが生涯で2000曲とも3000曲とも言われる膨大なオリジナル曲を

書いた姿だ。

これはまさに貴重なコメントの集大成である。そしてとくに興味深いのが、アメリカの現代モダン・バレエ界を代表するアルヴィン・エイリーのインタビューだ。彼と一緒にバレエのための組曲を書いた下りなど、まさにドキュメンタリー作品ならではの興味深い話である。

“音楽にはいい音楽と悪い音楽しかない”というのはエリントンの有名な言葉だ。彼は自分の音楽にジャズという言葉を使わなかった。ジャズという狭いジャンルにとらわれず、自由にさまざまな音楽をクリエイトしているという自負があったからなのだろう。

たしかにエリントンは教会音楽やバレエ曲から、はては交響曲まで、従来のジャズ系コンポーザーの活動では括れないほど旺盛な創作意欲を示していた。このビデオでも“ジャズではなく音楽だ。ジャズという表現は1943年以降使ったことがない。わたしの音楽はひとつのジャンルでは括れない。ジャズでは小さ過ぎる。他のジャンルの才能も参加しているし”という彼自身の言葉が登場してくるほどだ。

ところで最後になってしまったが、演奏シーンに関しては、結局のところ詳しいデータや出典が得られないままに終わってしまった。無用の混乱を避けるため、ここではデータのなことには触れない方が賢明だろう。貴重な映像も多く、こちらは観るだけ聴くだけでも十分に楽しめる内容だ。

エリントンが惜しまれつつこの世を去ったのは1974年5月24日のことである。しかしその後も息子のマーサー・エリントンが跡を引き継いでオーケストラは存続した。そのマーサーもいまでは天国に召されてしまったものの、エリントンが

残した数々の名曲と名演は永遠に色褪せることがない。この作品からは、オーケストラで聴くときのエリントンとはひと味もふた味も違う素顔を覗くことができる。名バンド・リーダー、名作編曲家に加えて、名コンメンテーターとしての彼の魅力もこの映像作品でタップリと堪能して頂きたい。

©WINGS 00021554:小川隆夫/TAKAO OGAWA



絶賛発売中!

各¥3,800(税抜)

**ザ・ビートルズ** / マジカル・ミステリー・ツアー  
●COBY-90003

**ザ・ビートルズ**  
メイキング・オブ・ア・ハード・デイズ・ナイト  
●COBY-90004

**ザ・ビートルズ**  
ビートルズがやって来るヤァ!ヤァ!ヤァ![決定版]  
●COBY-90005

**ザ・ビートルズ**  
ヘルプ!4人はアイドル[決定版]  
●COBY-90006

**ザ・ビートルズ** / ザ・ビートルズ・ストーリー  
●COBY-90007

**ローリング・ストーンズ** / アット・ザ・マックス  
●COBY-90008

**モントセラト島教済コンサート**  
~ホール・マッカートニー、エリック・クラプトン、  
エルトン・ジョン、他~  
●COBY-90009

**ジョン・レノン** / スウィート・トロント  
プラスチック・オノ・バンド・フィーチャリング・  
エリック・クラプトン  
●COBY-90010

**パット・メセニー・グループ**  
ウィ・リヴ・ヒア ライヴ・イン・ジャパン 1995  
●COBY-90011

**クリーム 黄金の軌跡**  
エリック・クラプトン、ジャック・ブルース、  
ジンジヤー・ペイカー  
●COBY-90012

**エリック・クラプトン・コンサート**  
●COBY-90013

**セックス・ピストルズ** / 伝説のラスト・ライブ  
●COBY-90015

**セックス・ピストルズ** / ライヴ・イン・テキサス  
●COBY-90016

**セックス・ピストルズ**  
勝手に見やがれ~ライヴ・イン・ジャパン  
●COBY-90017

**アストル・ピアソラ** / ライヴ1984  
●COBY-90018

**ジミ・ヘンドリックス**  
メイキング・オブ・エレクトリック・レディランド  
●COBY-90019

**ジミ・ヘンドリックス** / ベスト・ライブ!  
●COBY-90020

**ウッドストック 1969-8-15**  
~ジョン・パエス、アロー・ガズリー、ジョン・セバスチャン、  
カントリー・ジョー・マクナルド、リッチー・ヘイヴンス、他~  
●COBY-90021

**ウッドストック 1969-8-16**  
~ジャニス・ジョプリン、スライ&ザ・ファミリー・ストーン、  
ジェファーソン・エアプレイン、ザ・フー、サンタナ、他~  
●COBY-90022

**ウッドストック 1969-8-17**  
~ジミ・ヘンドリックス、クロスビー・スティルス&ナッシュ、  
ザ・バンド、ジョー・コッカー、テン・イヤーズ・アフター、他~  
●COBY-90023

**イヴニング・オブ・フォーブレイ Vol.1**  
~ボブ・ジェームス、リー・リトナー、  
ハーヴィー・メイスン、ネイザン・イースト~  
●COBY-90024

**イヴニング・オブ・フォーブレイ Vol.2**  
~ボブ・ジェームス、リー・リトナー、  
ハーヴィー・メイスン、ネイザン・イースト~  
●COBY-90025

**ジョン・コルトレーンの世界**  
●COBY-90026

**パット・メセニー**  
シークレット・ストーリー・ライブ  
●COBY-90027

**パット・メセニー** / モア・トラヴェルズ  
●COBY-90028

**リー・リトナー&フレنز・ライヴ Vol.1**  
●COBY-90029

**リー・リトナー&フレنز・ライヴ Vol.2**  
●COBY-90030

**スティーヴィー・ワンダー**  
メイキング・オブ・キー・オブ・ライブ  
●COBY-90031

**ザ・バンド** / メイキング・オブ・ザ・バンド  
●COBY-90032

**ポール・サイモン**  
メイキング・オブ・グレイスランド  
●COBY-90033

**ビー・ジーズ** / グレイテスト・ヒッツ・ライブ  
●COBY-90034

**ダイアン・シュア&  
カウント・ベイシー・オーケストラ**  
スペシャル・ライブ  
●COBY-90035

**デイヴィッド・サンボーン&フレنز**  
ザ・スーパー・セッション  
●COBY-90036

**チック・コリア&フレنز**  
パド・パウエルへの追想~ライブ  
●COBY-90037

**イース** / ライヴ 1975 Vol.1  
●COBY-90038

イエス/ライヴ 1975 Vol.2

●COBY-90039

イエス/ライヴ・イン・フィラデルフィア 1979

●COBY-90040

ワイト島 1970 一掃かきロックの残像—

ジミ・ヘンドリックス、ドアーズ、ザ・フー、エマーソン、レイク&パーマー、マイルス・デイヴィス、他

●COBY-90041

ザ・シークレット・ボリスマン・ロック・コンサート

エリック・クラプトン、ジェフ・ベック、スティヴ・ナイル、コリンズ、ビート・タウンゼント、他

●COBY-90042

スーパースター・ロカビリー・セッション

カール・パーキンス、エリック・クラプトン、ジョージ・ハリソン、リンゴ・スター、他

●COBY-90043

偉大なるジャズの歴史

ジョン・コルトレーン、マイルス・デイヴィス、チャーリー・パーカー、デューク・エリントン、他

●COBY-90044

ブルース・ランド/ブルースの誕生

マディ・ウォーターズ、ハウリン・ウルフ、ローリング・ストーンズ、チャック・ベリー、エルヴィス・プレスリー、他

●COBY-90045

ジャネット・ジャクソン

ザ・ヴェルヴェット・ロープ・ツアー・ライヴ [完全版]  
(5.1chサウンド)

●COBY-90046

ビー・ジョーズ/ザ・ベスト・ヒッツ・ライヴ

スペシャル・ゲスト:セリーヌ・ディオーン  
(5.1chサウンド)

●COBY-90047

ビリー・ホリデイ/ビリー・ホリデイの真実

●COBY-90048

レイ・チャールズ/ザ・ジニアス・オブ・ソウル

●COBY-90049

カウント・ベイシー/スイングの心象

●COBY-90050

コーネル・デュプリ featuring リチャード・ティ—

ニューヨーク・ライヴ

●COBY-90051

アンダーソン、ブラッフォード、ウェイクマン、ハウ

イエス・ミュージックの夜 Vol.1

●COBY-90052

アンダーソン、ブラッフォード、ウェイクマン、ハウ

イエス・ミュージックの夜 Vol.2

●COBY-90053

ボブ・マリー/ワン・ラヴ・ピース・コンサート

●COBY-90054

ジョー・コッカー/グレイテスト・ヒッツ・ライヴ

●COBY-90055

サラ・ヴォーン/聖なる歌声

●COBY-90056

セロニアス・モンクの肖像

●COBY-90057

リー・リトナー&ティヴ・グルーシン

ライヴ・フロム・レコード・プラント

●COBY-90058

ハイラム・ブロッグ/ニューヨーク・ライヴ

●COBY-90059

ジョニ・ミッチェルの肖像/ジョニ・ミッチェル  
(5.0chサウンド)

●COBY-90060

スティーヴ・ハケット&フレンズ

ライヴ・イン・ジャパン

●COBY-90061

ミシェル・ペトルチアーニ・トリオ

〜スティーヴ・ガッド、アンソニー・ジャクソン

ライヴ・イン・コンサート

●COBY-90062

トリビュート・トゥ・ジョン・コルトレーン

セレクト・ライヴ・アンダー・ザ・スカイ '87 10thスベシアル

●COBY-90063

マンハッタン・トランスファ—

ヴォーカリーズ・ライヴ '86

●COBY-90064

デイヴィッド・サンボーン&フレンズ

ザ・スーパー・セッション II

●COBY-90065

ボニー・レイト/グレイテスト・ヒッツ・ライヴ

〜ファイ・チャッキング・ブライアン・アダムス、ジャクソン・ブrawn

●COBY-90066

ブラック・サバス

ストーリー・オブ・ブラック・サバス〜オジー・オズボーン・イヤーズ

●COBY-90067

ブラック・サバス

ストーリー・オブ・ブラック・サバス Vol.2

●COBY-90068

カーメン・マクレエ・ライヴ

(ダイレクト・2chデジタル録音)

●COBY-90069

100 ゴールド・フィンガーズ

—ビアノ・ブレイハウス—Vol.1

●COBY-90070

100 ゴールド・フィンガーズ

—ビアノ・ブレイハウス—Vol.2

●COBY-90071

ジョニ・ミッチェル

シャドウズ・アンド・ライト [完全版]

●COBY-90072

ゲール・フォース

アイリッシュ・ミュージック・フェスティヴァル

●COBY-90078

オスカー・ピーターソン with ジョー・パス・ライヴ

●COBY-90079

GRPオールスターズ Featuring タイアン・シューア

●COBY-90080

RITスペシャル/リー・リトナー・ライヴ

●COBY-90081

フリートウッド・マック

メイキング・オブ・ルーモアズ

●COBY-90082

グレイトフル・デッド

メイキング・オブ・アメリカン・ビュティ

●COBY-90083

ディジョネット・ハンコック・ホランド・メセニー

イン・コンサート (HDライヴ)

●COBY-90084

ザ・ガッド・ギャング/デジタル・ライヴ

〜スティーヴ・ガッド、コーネル・デュプリ—、

リチャード・ティ—、他

●COBY-90085

**リック・リー・ジョーンズ** / ライヴ1992

●COBY-90086

**リック・ウェイクマン** / ライヴ1975

●COBY-90087

**リック・ウェイクマン** / ライヴ1990

●COBY-90088

**モントセラト島教済コンサート[完全版]**  
(ドルビーデジタル5.1サラウンド/DTSS.1サラウンド)  
●COBB-90001 ¥4,700(税抜)

**クラシック・アルバムズ**  
**U2** / ヨシュア・トリー

●COBY-90089

**クラシック・アルバムズ**  
**ボブ・マーリー&ザ・ウェイラズ**

キャッチ・ア・ファイヤー  
●COBY-90090

**クラシック・アルバムズ**  
**ミートローフ** / 地獄のロック・ライダー

●COBY-90091

**クラシック・アルバムズ**  
**スティーリー・ダン** / 彩(エイジャ)

●COBY-90092

**クラシック・アルバムズ**  
**ザ・フー** / フーズ・ネクスト

●COBY-90093

**クラシック・アルバムズ**  
**フィル・コリンズ** / 夜の囁き

●COBY-90094

**プリンス・トラスト 1986**

～ポール・マッカートニー、エリック・クラプトン、  
エルトン・ジョン、ロッド・スチュワート、他

●COBY-90095

**プリンス・トラスト 1987**

～ジョージ・ハリソン、リンゴ・スター、  
エリック・クラプトン、エルトン・ジョン、他

●COBY-90096

**プリンス・トラスト 1988**

～エリック・クラプトン、エルトン・ジョン、  
ピーター・ダブリエル、フィル・コリンズ、他

●COBY-90097

**プリンス・トラスト 1989**

～スイング・アウト・シスター、ヴァン・モリソン、  
レヴェル42、アレクサンダー・オニール、他

●COBY-90098

**プリンス・トラスト 1990**

～レニー・クラヴィッツ、リサ・スタンスフィールド、  
チャカ・カーン、WET WET WET、他

●COBY-90099

**ナイアシン**

ビリー・シーン・プロジェクト～ライヴ・イン・ジャパン

●COBY-90101

**ザ・ローリング・ストーンズ**

ハイド・パーク・コンサート

●COBY-90102

**ザ・ドアーズ** / ドアーズ・アー・オープン

●COBY-90103

**ジェームス・ブラウン** / ロスト・テープ

●COBY-90104

**ケニー・ドリュー** / ライヴ・イン・ヨーロッパ'92

●COBY-90105

**トリビュート・トゥ・ビル・エヴァンス**

●COBY-90106

**伊藤君子** / イヴニング・ウィズ・キミコ・イトウ

●COBY-90107

**ラッシュ** / グレイテスト・ビデオ・ヒッツ

●COBY-90108

**ベスト・オブ・ベイ・シティ・ローラーズ**

●COBY-90109

**シカゴ・ブルースの伝説**

デヴィ・ウォータース、チャック・ベリー、ローリング・ストーンズ、他

●COBY-90110

**テーク・エリントン** / エリントン・ミュージック VOL.1

●COBY-90111

**ジュリー・アンドリュース・イン・コンサート**

●COBY-90113 ¥4,700(税抜)

◆メニュー画面について

1. メニューボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
2. カーソル移動ボタンでご希望のチャプターを選び、決定(選択)ボタンで決定すると、そのチャプターの再生が開始されます。



NTSC 日本標準画尺

●このプログラムは、4:3画面サイズで収録されています。

トラックNo.	音 声 仕 様	録音方式	音声内容及言語
1	リニアPCM(48kHz,16bit)	ステレオ	オリジナル



**DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。**  
**DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。**

くわしい再生上の取扱方については、ご使用になるプレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

- 取り扱い上の注意** ●ディスクは両面共に指紋、汚れ、キズなどをつけないように取り扱ってください。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード・クリーナーや溶剤などは使用しないでください。●ディスクは両面共に、鉛筆、ボールペン、油性ペンなどで文字や絵を書いたり、シールなどを添付しないでください。●ひび割れや変形、又は接着剤などで補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないでください。
- 保管上の注意** ●直射日光の当たる所、高温・多湿な場所での使用・保管は避けてください。●ご使用後、ディスクは必ずプレーヤーから取り出し、専用ケースに入れて保管してください。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。



Producer, Director : Terry Carter  
Writer, Co-Producer : Leonard Malone  
Executive Producer : Susan Lacy  
Assistant to the Producer : Beate Glatved  
Narrator : Terry Carter

Archival Film  
BBC Television  
Sveriges Television  
Danmarks Radio TV  
Canadian Broadcasting Corporation  
Turner Entertainment, Inc.  
MCA/Universal

Archival Photographs  
Time, Inc.  
Donna Mussenden-Van Der Zee  
The Schomburg Center for Research in Black Culture

Special Thanks to  
Ruth Ellington  
Danmarks Radio TV  
National Endowment for the Arts

A Co-Production of  
Council for Positive Images, Inc. and American Masters / WNET

"A Duke Named Ellington"  
©MCLXXXVIII  
Council for Positive Images, Inc. All Rights Reserved

Under License Through VideoArts Music, a Division of IMAGICA Media, Inc.

DVD

A Duke Named Ellington VOL.2

COBY-90112

COLUMBIA

# デューク・エリントン | エリントン・ミュージック VOL.2

## A Duke Named Ellington

- 生誕100年を迎えた20世紀の音楽界を代表する巨人、デューク・エリントンの人と音楽を貴重な映像で綴ったヒストリー・ビデオの決定版。
- 伝説の「ニュー・ポート・ジャズ・フェスティバル」のエピソードから、晩年の姿まで、栄光のエリントン楽団を彩ったポール・ゴンザルヴェス、ラッセル・プロコップ、ハリー・カーネイ、レイ・ナンスなどのスター・プレイヤー達や、エリントン自身の貴重な演奏シーンが続出。全音楽ファン必見のビデオ作品。



### ■演奏シーン

- A列車で行こう:デューク・エリントンのピアノ
  - ムード・インディゴ:ラッセル・プロコップ
  - チェルシー・ブリッジ:ポール・ゴンザルヴェス
  - 極東組曲:ハリー・カーネイ
  - トウツティ・フォー・クーティ:クーティ・ウィリアムス
  - ブラック・ブラウン・アンド・ベージュ:レイ・ナンス
- 他、多数

### ■出演

- デューク・エリントン・オーケストラ:  
クラーク・テリー (tp)、ジミー・ハミルトン (cl)、ラッセル・プロコップ (cl) 他
  - レナード・フェザー (評論家)
  - ハービー・ハンコック (ピアニスト、作曲家)
  - ウィリー“ザ・ライオン”スミス (ピアニスト)
- 他、多数

“A Duke Named Ellington”

©MCMLXXXVIII

Council for Positive Images, Inc. All Rights Reserved

Under License Through VideoArts Music, a Division of IMAGICA Media, Inc.

COBY-90112 56分 片面・一層 MPEG-2/NTSC カラー(一部モノクロ) JASRAC レンタル禁止 00.4.21



トラックNo.	音声仕様	録音方式	音声内容及び言語
1	リアアPCM	ステレオ	オリジナル

■日本語字幕スーパー入

■解説書付き

発売元: 日本コロムビア株式会社 MANUFACTURED BY NIPPON COLUMBIA CO., LTD. JAPAN 函



DVD

デューク・エリントン・ミュージック VOL.2

COBY-90112

COLUMBIA

このディスクを個人的に楽しむなどのほかは、権利者に無断で複製(異なるテレビジョン方式を含む)、放送(無線、有線)、公開上映、レンタルなどに使用することは法律で禁じられています。

